

ぽけっと

発行 2015年 12月 16日

編集 特定非営利活動法人

ママサポートえぷろん事務局

発行責任者 帯谷 昭子



グループホームうらら花10周年を迎えて

グループホームうらら花 管理者 吉田圭介

まずは、ご家族の皆様はじめ地域の皆様、関係者の皆様のご協力やこれまで携わってきた全スタッフの皆様の頑張りの元、こうして施設開設 10 周年を迎えることができました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

さて、わたくしはまだうらら花に携わらせていただいてからはまだ 2 年ほどしかたっておりませんが、かなり濃密な 2 年ほどの時間だったと思います。それまでは同じ介護という仕事ではありましたが、特養という大きな施設での勤務経験であったため、グループホームで働くということに対して、楽しみであったのと同時にどのようにしていけばよいものかと不安な気持ちもかなりありました。しかし、利用者のみなさんはそんなことを忘れさせてくれるほど毎日僕たちに元気や楽しさを分けてくれています。他と比べるというとはあまり好きではないのですが、うらら花で生活されているみなさんの利用年数は長い方がほとんどです。これは利用者の方々が健康に過ごされていることはもちろんですが、これまでのケアの質もよかったのではないのかなと感じています。

しかしながら今後も現状に甘えることなく、スタッフそれぞれのケアの質をさらに高め、利用者のみなさん一人ひとりの生活が 「よかったな～」 「楽しかったな～」と感じてもらえるようにこれからも努力していかねばならないと思います。

さらには、後々のことでは「重度化への対応」や「看取り」といったことも遠くはないことであると思えますし、間違いなく考えていかねばならない課題だとも思いますので、そのことに向けて自分をはじめ全スタッフがそれぞれのスキルアップのため努力していかねばいけない課題であると感じています。

そしてこれからも 15 年、20 年とまた先に進んでいけるようにスタッフ一丸となり頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも温かいご支援とご協力をよろしく願いいたします。

年末年始休業のお知らせ

下記の通り休みとなります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

●生活サポートのひら ●デイホームひなたぼっこ●MELLOW倶楽部あ・笑～る

休業日 平成 27 年 12 月 30 日 (水) ～平成 28 年 1 月 5 日 (火)

休業中の連絡先 090-8275-3138 (法人事務局)



前回、地域食堂まんてん開業とこれまでの『軌跡』をご紹介させていただきましたが、今回は就労継続支援B型事業所 ワークステーション「わくわく」についてご紹介させていただきます。

1. コンセプトづくり

ほんべつフリーライフでは、就労の場づくりのコンセプトとして①障がい者⇒労働者 ②支援を受ける人⇒支援をする人 ③非課税者⇒納税者の3つの「障がいからの変化」をあげ、「障がい者が主役になれる仕事、障がい者の顔が見える仕事」を柱に据えて、就労体系・内容について考えていきました。

2. 多様な就労の場づくり

当事業所はB型事業所ではありますがA型とB型の中間にいる方の支援を行い、就労と作業の両方を用意しながら、中間的就労の役割と一般就労に向けた支援を行うことを考えました。障がい者就労では「10個の仕事に対して1人、1人に合った仕事が必要である」と理解し、ジョブマッチングをより効果的に発揮できる就労内容の検討を行いました。そこで検討した就労・作業内容が①ゴミ袋・ゴミ処理券委託事業（ゴミ袋の仕分け作業） ②ソーシャルファーム事業（農作業） ③古本クリーニング販売事業（古本拭き取り作業） ④チョコレート事業（地域の方の御用聞きサービス） ⑤地域食堂「まんてん」でのサービス事業（接客・掃除） ⑥授産・販売事業でした。

また、事業所の名前についても様々なアイデアが出ましたが、働くことで社会での役割をもち、毎日が「わくわく」した楽しい生活を送ってもらいたいという思いからワークステーション「わくわく」と名付けました。

3. 障がい者が農業の担い手へ！

いよいよ今年の6月から就労継続支援B型事業所 ワークステーション「わくわく」がオープンしました。その中のソーシャルファーム事業（農作業）は、私たちにとって初めての経験で課題も多くありました。私たちがなぜ未経験の農業に取り組もうと思ったのかと言いますと、以前より福祉就労と農業の可能性がありながら取り組める仕組みがなかったため何とか福祉と農業をつなぐ仕組みを作ろうと思ったこと、今回トマト栽培に関しては役場の方や農家の方、またはボランティアの方の応援があったこと、更に他の事業と比較して収入が多く1円でも多く利用者の方々に賃金をお支払いしたいと思ったのがきっかけでした。しかし、農業と言っても簡単にできるものではなく課題は多くありました。特に“農地が持てない・農業経験がない”ということは大きな課題です。しかしいろいろな方からアドバイスをいただき、町内の農家の方にはアドバイザーになっていただき、農作物の収穫時期や栽培方法などについて教えていただきながら、トマト・じ



やがいも・たまねぎ・とうもろこし・枝豆などの作物を、種（苗）植えから始め、水やり・草取り・収穫と一連の作業を、利用者の皆さんと一緒に行いました。トマトの収穫時期には10t近くの収穫を見込まれたので、総勢25名のボランティアの方に手伝っていただき、収穫を無事終えることができました。

そして、収穫した作物は、トマトは販路が決まっており出荷し、それ以外の収穫した野菜は地域食堂「まんてん」にて食材として使用したり、町内の祭りなどのイベントに出店させていただき販売も行い、食べて頂いた方からは「美味しい！」との声を多くいただくことが出来ました(無農薬野菜です!!)。

このように、農作業については「農福連携」を行い、農業者と当法人または地域住民の方々と連携を図ることで、農業分野での働く場所と居場所づくりに繋がったのではないかと思います。



4. 仕事をするなかでの利用者の方の気持ちの変化・・・

農作業の他にも授産・販売事業として、職員が考案した左記写真のような“ルームバンド”を利用者の方たちに作ってもらっております。配色はそれぞれ利用者の方に決めてもらい編んでもらっていますが、当初は暗めの配色（黒や青など）を選ぶ方が多かったですが、農作業や作業など様々な仕事を行うことで心境・気持ちの変化が見られているのか、色鮮やかな配色（赤や黄色など）を選ぶことが多くなり、綺麗な色であったり可愛い色のバンドが出来上がるようになりました。

シングルプレスレット



5. これからのワークステーション「わくわく」・・・

当事業所は6月に走り出したばかりで、まだまだ利用者の方に選択してもらえるほどの就労・作業共に提供は出来ていませんが、これから利用者の方と共に事業所自身も成長していき、利用者の方々に名前の由来でもある、『働くことで毎日がわくわくした楽しい生活を送ってもらえる』ように努力し続けていきたいと思えます。

足寄中学校職場体験学習 in ひなたぼっこ



沢山の利用者さんと笑顔で触れ合うことが出来ていました♪

平成27年9月12日札幌にて行われた研修報告を行います。日頃からどのようなコミュニケーションをするのがいいのかを考えていたので大変参考になりました。色々な質問の仕方を教えてもらいました。相手にとって話しやすい質問は何なのかを考える機会になりました。イライラしてくると「何で・・・」と言ってしまいますが、これでは相手側は答える事が出来なくなってしまいます。相手の事を考え「何があった?」「どのようにすればいいのかな?」等と言うように質問を変えることが大切である事が分かりました。

今回の研修で最も面白かったのは、自分自身の取り扱い説明書を考える事でした。自分にはどんな特技があり、どのような時・どのような場での活用がオススメなのかを考えたり、自分の上手な使い方や反対にやってはいけない事、上手にお手入れする為のケアは・・・等の質問に答えるうちに『あ～自分にはこんな一面があるんだな』と感じる事が出来ました。自分自身を見つめ直すいい機会となりました。

色々な質問の仕方によって人はポジティブにもネガティブにもなる事を感じました。この講座を聞いている間は楽しくてたまりませんでした。「10年後の自分になりきって話してください」「最近あなたが上手いっている事は?」「褒めてもらえると嬉しい事は?」考えると自分がどんどんと前向きになっていくような気がしていました。最後に皆さんも考えて見て下さい。「心の中にシャンパングラスがあります。今の自分はどれくらい満たされていますか」「またそれを満たす為にはどうするのか?」との質問をされたらどうでしょう。

今回の研修に参加して、自分はいかに恵まれた職場にいるのかを感じました。この研修で学んだ事を少しずつ職場で生かしていけたらと思います。

いろは坂

猛スピード

広井 数子

まだ暑さが残る8月の半ばだった。100円ショップをぶらついていて、たくさんのカレンダーが並んでいるコーナーが目に入った。日めくり、1枚ものなど、種類も豊富だ。

「あらー、売れ残っちゃったのか。かわいそうに。でも、今年はあと4カ月しか残っていないのに、今から買う人がいるんだろうか」

笑いながら近づいてみると、それらは、なんと来年のカレンダーだった。「えー?、ウソでしょう?」
小さな目を見開いて何度も確かめた。

世の中の季節感は、年ごとに進むのがはやくなっている気がする。

成人式の着物や前撮りの予約も、何年も前からするらしい。暑い中でのストーブや冬タイヤの宣伝は普通だ。

お正月になると、すぐに雛飾りや五月人形が並び出す。ランドセルにいたっては、一年中売り場があるという。

猛スピードで先をゆく季節を、私は、よたよたと追いかけている。

暮れがせまった今、店内は、クリスマスソングが賑やかだ。大量のお歳暮、お供え餅、おせち料理が「早く買ってー、もうすぐ新年だよー!」と叫びながら並んでいる。

せかさされても、さっぱりやる気はおきないが、とりあえず、4カ月前について買ってしまった月めくりのカレンダーを探してみることにしよう。どこにしまったんだっけ。

